

南東北  
岩手県  
宮城

# 11市町議会が実現要望 国会議員連盟と文科省に



東北誘致

【東京支社】岩手県南、宮城県北の11市町議会は13日、超党派の国会議員による国際リニアコライダー(ILC)建設実現議員連盟、文部科学省に対し誘致

を要望した。

一関、奥州、大船渡、陸前高田、住田、金ヶ崎、平泉、気仙沼、登米、栗原、南三陸の各議会から15人が上京。同議連の河村建夫会長や藤原宗衆院議員(比例東北)との懇談では一関の槻山隆議長が「東北への加速器関連産業の集積が進む。国際的な科学研究拠点

河村建夫氏(中央)へ要望書を手渡す槻山隆議長(左から2人目)ら



として世界に大きく貢献し、新たな地方創生につな

がる」と実現を求めた。

河村氏は「国際研究者組織が3月7日までの日本政府の意思表明を求めており、政府に前向きな姿勢を示してもらえよう最後の詰めを行っている。財界にも働き掛けるなど強力な運動を展開したい」と答えた。同省では研究振興局の磯谷桂介局長が対応。出席者によると、磯谷局長は一関係省庁と検討している段階で、3月上旬ごろには方針を示したい」と述べた。